

ASAZOOクイズラリー

詳しく動物を知ろう！

レベル. 2

もんだい 問題にでてくる動物の前に看板が置いてあります。

しっかり読んで、クイズに答えてね。正解に○をしてください。

問1 インドホシガメの名前の由来は？

よく甲羅干しを
するから

甲羅の模様が
星みたいだから

問2 アフリカスイギュウの角があるのは雄と雌どっち？

雄 ・ 雌 ・ 両方

問3 雄のインドクジャクの飾り羽は何をするためのもの？

雌への求愛 ・ 音を吸収する

問4 キョンの目の下にある眼下腺は何をするためのもの？

敵を威嚇する ・ 液を出して
なわばりの印にする

問5 ニホンコウノトリは鳴き声のかわりに、上下のくちばしを合わせて
カタカタとならすが、この行動を何という？

クラッタリング ・ クラッピング

答えは動物園の出口にあるよ。鉛筆をかりた人はそこで返してね。

こた かいせつ
答えと解説

※↓の図は各動物舎に設置している看板です。

こうら もよう ほし
答1 甲羅の模様が星みだいだから

インドホシガメの甲羅は黒色に黄褐色の放射状の斑紋が入ったような模様をしています。この模様が星のように見えることが名前の由来となっています。また英名にも「star(=星)」が入っています。

インドホシガメ

- ・ カメ目 リクガメ科
- ・ 学名 *Geochelone elegans*
- ・ 英名 Indian Starred Tortoise

・ インド、パキスタン、スリランカにすむ。成長すると甲長30cm位になる。各甲羅に黄褐色の模様が星のようになるのがこの名前の由来。
 森林、草原、農耕地などでも生活している。植物の葉や果実、花を好んで食べる。草食性
 ワシントン条約Ⅱ表

りょうほう
答2 両方

アフリカスイギュウは雄・雌両方に角があります。この角は基部が大きく盛り上がり、頭頂部を覆う形で生えています。ちなみに同じウシの仲間のブラックバックは、雄にだけ角が生えます。

偶蹄目(ウシ目) ウシ科

アフリカスイギュウ

African Buffalo
Synceros caffer

アフリカのサハラ砂漠以南の草原にすんでおり、雌と子を中心とした群れで生活している。気が荒く大型であるため、ライオンでもおとなのスイギュウをかんとんに倒すことはできない。餌を求めて他の草食動物と群れをつくって移動する。
雄雌とも角を持ち、基部が大きく盛り上がり頭頂部を覆う。
 脳腹の肋骨は重なり合うように隙間なく並んでいて、これは他の哺乳類では見られない特徴である。
 体長2~3.4m。肩高1~1.7m。体重300~900kg。

きゆうあい
答3 雌への求愛

雄の飾り羽は繁殖期に雌に対して広げて求愛する際に使います。この飾り羽は1年中あるわけではなく、繁殖期(3月から6月下旬頃まで)が終わると抜け落ちてしまいます。

インドクジャク キジ目

COMMON PEAFOWL

インドのひらけた草原にすみ、草の種や芽、昆虫などを食べる。雄のかざり羽は繁殖期にだけ雌に対して広げて見せる求愛のためのもの。雌は目玉模様の多い雄を選んで交尾する。巣は地面を掘って、くぼみをつくり、4~6個の卵を産む。卵は雌が温め、約1ヶ月でふ化する。
 25年くらい生きる。

えき しるし
答4 液を出してなわばりの印にする

キョンは目の下に大きな眼下腺と呼ばれる液を出す器官があり、この液を木の枝などにこすりつけてなわばりの印にします。この眼下腺はニホンカモシカやシフゾウにもあります。

偶蹄目(ウシ目) ウシ科

キョン

Reeves' s Muntjac
Muntiacus reevesi

中国東部、台湾の森林にすみ、単独で生活する。雄はイヌのような鳴き声を出し、ふたまたに分かれた角と長い牙をもつ。角の長さは約7cm。目の下には大きな眼下腺(がんかせん)があり、目が4つあるように見えるのでヨツメジカともよばれる。眼下腺から出るにおいの強い液を木の枝などにこすりつけてなわばりの印にする。
 日本(房総半島、伊豆大島)では飼育されていた個体が逃げ出し、野生化して農作物に被害を与えるなど問題化している。外来生物法により、2005年に特定外来生物に指定された。

答5 クラッタリング

コウノトリはヒナのころはエサをねだる時などに鳴きますが、巣立ち後しばらくすると鳴かなくなります。代わりにくちばしをカタカタと打ち鳴らすクラッタリングをするようになります。

コウノトリ目 コウノトリ科

ニホンコウノトリ

Oriental White Stork
Ciconia boyciana

中国やロシアなどの数千羽が生息している。日本では昭和になって野生個体群は絶滅した。その後、飼育下で繁殖した個体の野生復帰が進んでいる。魚やカエル、昆虫などの小動物を食べる。鳴声のかわりに、クラッタリング(上下のくちばしをあわせてカタカタとらす)をする。木の上に枝を集めて大きな巣を作る。普通3~5卵を産む。